

(2025 年 7 月 18 日版)

生成 AI 利用についてのガイドライン(学生向け)

阪南大学長 平山 弘

1. ガイドライン策定の目的・背景

近年、ChatGPT などの生成 AI 技術が急速に発展・普及し、学生が学修・研究活動で容易に利用できる環境となっています。生成 AI は学びの効率化や可能性の拡大に有用である一方、使用方法を誤ると学修機会の損失、誤情報の拡散、学問的誠実性の損なわれるリスクも伴います。本ガイドラインは、学生の皆さんが責任を持って生成 AI を活用し、適切な学びと研究活動を進めるための基本方針を示すものです。

2. ガイドラインの適用範囲・対象者

本ガイドラインの対象は、在籍する全ての学生（学部生・大学院生）です。適用される利用シーンは、授業・課題・自主学修・グループワーク・研究活動・課外活動など、大学におけるあらゆる学習・研究活動、およびそれらに付随する場面を含みます。

3. 生成 AI の定義と利用可能サービス例

「生成 AI」とは、入力した質問や指示（プロンプト）に対して、文章や画像、音声、プログラムなどを自動生成する人工知能技術を指します。

主な例：

- 文章生成系：ChatGPT, Gemini (Google Bard) , Microsoft Copilot, Claude
- 画像生成系：Stable Diffusion, DALL·E, Midjourney
- その他：AI による動画生成、音楽生成など

今後登場する類似サービスも含め、これらのツール全般を本ガイドラインの対象とします。

4. 生成 AI 利用時の基本姿勢・倫理

- 生成 AI は「補助的な道具」として活用し、自身の学び・成果物は自分の言葉と考えでまとめましょう。
- AI の出力内容が誤っている場合や偏りがある場合もあるため、必ず内容の正確性を複数の情報源で確認してください。
- 生成 AI に安易に依存しすぎず、自らの論理的思考力・表現力・研究倫理を育むことを第一としてください。
- 学問的誠実性（正直・責任・公平・敬意）を常に意識し、他者や社会への配慮・責任ある利用を心掛けてください。

5. 禁止事項・注意事項

- 個人情報や機密情報（自分や他人の氏名・連絡先・内部資料など）を AI に入力しないこと。
- 他者の著作物や権利を侵害する行為（AI の著作物を含む出力結果をそのまま利用、無断引用や転用など）は厳禁です。
- AI の出力を鵜呑みにせず、誤情報・差別的表現・バイアス・虚偽に注意すること。
- 試験や課題等で AI を用いてカンニング、不正解答、成績の不正取得へ利用することは禁止です。
- AI 出力を「自分が作成したもの」として無断提出すること、または許可なく提出物の本文全体を AI に依存することを禁止します。

6. 利用時の申告・引用ルール

- レポート・課題・卒論・制作などで生成 AI を使用した場合は、その旨・使用したサービス名・どの部分にどのように利用したか明記してください。
例：「本レポートの文章校正に ChatGPT を利用した」「第 3 章の要約作成に AI を活用した」など。
- 利用申告がない場合や虚偽申告は不正行為と見なされることがあります。

7. 参考：主な利用例／認められない事例の例示

【主な利用例】

- 学修や研究内容の理解促進のための調べもの、要約、アイデア出し
- 外国語学習時の翻訳・添削・会話練習
- 授業内容で疑問点が生じた際の補足説明の取得

【認められない主な例】

- レポート・論文・課題答案などを AI に丸投げして出力そのものを提出
- 教員が「AI 利用不可」と指示した場面での利用
- 試験・課題等でのカンニングや不正解答

8. トラブル・相談先

- 生成 AI 利用に関する判断に迷った場合、不具合や疑義・トラブルが発生した場合は、担当教員、教育情報課等に必ず相談してください。

9. その他（技術進展に応じた見直し、附則等）

- 本ガイドラインは、AI 技術・社会環境・関連法令・大学方針などの変化に合わせて、必要に応じて内容を改定します。改定時は速やかに学生に周知します。